

令和3年度賛助会員(令和4年3月末現在)企業・団体・個人(敬称略・順不同)

■賛助会員の皆様には日頃より暖かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

企業・団体

鎌倉自動車学校	さくら鍼灸整骨院	サンブリッジテニスクラブ
(株)シーケン	スポーツショップラック	(株)セサミ セサミスポーツクラブ大船
中華レストラン松月	(株)二和印刷	(株)ファンケル
ボウリング王国スポーツ八景ボウル	ラックテニススポット港南台	若竹クリニック
横浜元大橋郵便局	栄スポーツセンター	横浜市栄弓友会
ウォーキング協会	剣道連盟	サッカー協会
ソフトテニス連盟	ソフトボール協会	卓球協会
ターゲット・バードゴルフ協会	ダンススポーツ連盟	綱引き連盟
テニス協会	バドミントン協会	パワーリフティング協会
ボウリング協会	野球協会	

個人

相墨 光明	阿部 良雄	有馬 武郎	安藤 盛	飯島 章浩	石坂 高延	市瀬 法男	梅澤 亮一
大内 靖夫	小澤 康男	小島 正弘	小野 幸子	小野 琢司	加藤 秀吉	金子 和男	河野 寛子
倉沢 孝	桑原 恵子	権正かほる	小比類巻正喜	佐藤 悦雄	佐藤 智恵子	穴戸 園子	清水 正美
篠原 貞江	渋谷 和美	渋谷 純市	白川 正信	鈴木 美華	田中 欣叶	辻 広愛	鶴田 英雄
富田 徹哉	中野 広美	野崎 孝二	羽廣 直美	藤田 正之	松村 光一郎	松本 彰	松本 光史
三谷 ときわ	三室 勉	三宅 敬子	宮原 省吾	野島 元子	安田 憲二	山下 勇一	和久井志津子

■令和4年度 栄区体育協会賛助会員募集

日頃より栄区体育協会の活動にご理解・ご支援を受け、体育振興および地域社会の親睦と発展に寄与して参りました。

今年度もまたよろしくご支援賜りますようお願いいたします。

企業・団体会員:5,000円(年額1口) 個人会員:1,000円(年額1口)

■令和4年度 広告掲載募集

企業・団体等対象に広告掲載を募集します

サイズ:1枠 4cm×9.3cm 1枠 3,000円

【テニス協会】 新型コロナ禍での活動状況

令和3年度第36回栄区民大会(男女ダブルス戦)開催 令和3年9月23日～ 金井公園

新型コロナ感染拡大防止措置として以下のような制約の中で大会が実施されました。

- ・事前にHPから健康観察表を印刷し試合当日に記入し提出する
- ・試合前後の握手等の省略
- ・マスク着用(試合中は任意)
- ・大声での声援の禁止



体育協会だより

**はっらっ**

みんなで楽しい体力づくり  
健康で明るい活力あるまちづくりをめざします

春季号

令和4年3月

発行 栄区体育協会  
TEL・FAX045-896-4208  
編集 広報委員会

栄区体育協会から栄区スポーツ協会へ名称変更

昭和62年5月10日栄区体育協会として発足以来、令和4年5月に35周年を迎える当協会は永く親しんできた「栄区体育協会」という名称を令和4年4月1日より「栄区スポーツ協会」に変更します。

横浜市体育協会においては令和2年4月1日「横浜市スポーツ協会」に名称変更、各区についても順次スポーツ協会に名称変更してきています。この名称変更に伴い当協会では、協会印、横断幕、のぼり、しおり、封筒等に記載の名称を変更しました。

右記は横浜市スポーツ協会のQRコード(栄区スポーツ協会を掲載しています)



栄区体育協会事務所の一時閉鎖について

栄スポーツセンター耐震工事(令和4年2月1日から令和5年2月末)のため栄区体育協会事務所への立ち入りができなくなっています。代替措置として栄公会堂側のリハーサル室にて仮事務所を開設しています。仮事務所には毎週木曜日9:20～12:30 三谷総務委員長が滞在しています。(TEL:080-5082-1243)

第32回栄区民ロードレース大会結果

主催:栄区民ロードレース大会実行委員会 横浜市栄区

新型コロナ感染拡大予防措置により昨年は中止となりましたが、今年はオンラインにて開催されました。令和4年1月8日(土)から1月16日(日)までの期間中に個人またはチーム(5人以内)でランニングアプリを使用して自由に走行してその累計走行距離で順位決定するという方式で実施されました。

結果は右のとおりです。

	個人の部	チームの部
1位	市原 亘 393.19km	栄消防署 871.28km
2位	佐藤宣貴 371km	栄 SCWRC 722.4087km
3位	吉川泰弘 293.54km	高島町役場 440.26km

【弓道協会】 新型コロナ禍での活動状況

令和3年度栄区弓道大会開催 令和3年11月23日(火・祝日) 会場:本郷ふじやま公園弓道場

昨年は、新型コロナ禍で開催中止を余儀なくされましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しながら、何とか工夫して開催できないか準備を進めて来ました。開催に当たっては、マスクの着用・手指のアルコール消毒・検温等の基本的感染防止対策の徹底をし、事前申込みによる受付時間の時間差入退場や競技運行方法を工夫して実施しました。

参加者の日頃の鍛錬の成果を発表する場となり、コロナ禍の中でも困難に立ち向かう努力の大切さや尊さを思い、協調性と親睦を図りそして、弓を楽しみ健康に感謝する場となりました。

新型コロナが一日でも早く終息して、マスクの着用等の無い普通の日々が戻ることを願っています。

